

平成27年1月5日の仕事始め式でのあいさつです。

明けましておめでとうございます。

仕事納め式で「この年末年始、5人くらい市民の知り合いを作ってください」という話をさせていただきました。どうでしたか？新しく知り合った方に「明けましておめでとう」とあいさつすることはできましたか？

新年にあたり、3つのお話をさせていただきたいと思います。

1つ目。市役所の仕事を市民のみなさんに移していく仕組みを作ることです。

現在、市内には、60歳以上の方が約1万人いらっしゃいます。民間で活躍されてきた超ベテランのOBの方がたくさんいらっしゃいます。私も、副市長も、教育長もいってみればOB世代です。私たちは、仕組みがあるから、力を発揮する場があります。しかし、通常、OBになると、社会からなかなか声がかかりません。こうしたOBのみなさんの力を発揮する場を作っていきたいのです。国が言う「まち・ひと・しごと」において、長久手では人を発掘してまちづくりで活躍してもらい、OB世代に新たな仕事を作る、そうした取組みをしていきたいと思っています。

職員のみなさんには、ほかの市町村ではなく、“この長久手で”子・孫の世代まで暮らし続けるには、どうしたらいいのか考えてほしいと思います。ルーティンの仕事はもちろん大切ですが、それだけでなく、少し幅広い目で見ても、何が必要か、何をすべきか考えてほしいと思います。

2つ目。1月31日（土）に文化の家で映画「降りてゆく生き方」が上映されます。私が話していることが「よく分からない」という職員は、まず、映画を見てほしいと思います。誰も経験したことがない、人口が減っていく社会についてのヒントがあるはずです。

3つ目。年末に愛知署長から、愛知県が昨年、交通事故死亡者数、侵入盗件数が、全国ワーストワンだったと伺いました。そのうち、侵入盗については、名古屋市内を除くと、県下で本市の南小学校区がワーストワンだったそうです。警察も侵入盗や自動車盗被害を減らすため、プロジェクトを立ち上げると言っています。警察任せでなく、そこに暮らす私たちも、何かできないかと思っています。昨年11月からは、泥棒の犯罪が多い午後4時から午後7時にかけて、青パトが南小学校区を重点的に回っています。消防車にも、回転灯を付けて回ってもらっています。

南小学校区に暮らす職員はもちろん、職員、市民総力を挙げて、犯罪を減らしていきたいと思っています。ぜひ、力を貸してください。

仕事初めにあたり、いろいろと話をしましたが、今年も一年、よろしく願いいたします。